

## 後期高齢者医療特別会計（議案第6号）

### （1）歳入

（単位：千円、％）

区 分	令和2年度 当初予算額 A	構成比	令和元年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備 考
後期高齢者医療保険料	435,652	71.4	405,509	69.0	7.4	
特別徴収保険料	280,183	45.9	250,608	42.6	11.8	
普通徴収保険料	155,469	25.5	154,901	26.4	0.4	
使用料及び手数料	100	0.0	100	0.0	0.0	
繰入金	170,684	27.9	178,124	30.3	△4.2	
事務費繰入金	23,925	3.9	34,480	5.9	△30.6	
保険基盤安定繰入金	146,759	24.0	143,644	24.4	2.2	
諸収入	4,422	0.7	4,108	0.7	7.6	
歳入合計	610,858	100.0	587,841	100.0	3.9	

### （2）歳出

（単位：千円、％）

区 分	令和2年度 当初予算額 A	構成比	令和元年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備 考
総務費	24,025	3.9	34,580	5.9	△30.5	
職員給与等	18,466	3.0	14,145	2.4	30.5	
一般事務費	5,559	0.9	20,435	3.5	△72.8	
後期高齢者医療広域連合納付金	582,421	95.3	549,163	93.4	6.1	
保険料分	435,652	71.3	405,509	69.0	7.4	
保険基盤安定負担金	146,759	24.0	143,644	24.4	2.2	
延滞金分	10	0.0	10	0.0	0.0	
諸支出金	4,412	0.8	4,098	0.7	7.7	
歳出合計	610,858	100.0	587,841	100.0	3.9	

- 令和2年度後期高齢者医療特別会計当初予算規模の総額は、歳入歳出総額6億1千85万8千円となっており、令和元年度当初予算の歳入歳出総額5億8千784万1千円に比べ、3.9％、額にして2千301万7千円増加しております。

#### 歳入について

- 保険料については、後期高齢者医療広域連合での試算に基づき、7.4％増の4億3千565万2千円を計上しております。
- 使用料及び手数料については、昨年度と同額の10万円を計上しております。
- 繰入金については、事務費繰入金が減少、保険基盤安定繰入金が増加しており、全体で4.2％減の1億7千68万4千円を計上しております。
- 諸収入については、7.6％増の442万2千円となっております。また、保険料に還付が生じた場合、還付金は後期高齢者医療広域連合から本市を経由して、被保険者へ返還される制度となっております。

#### 歳出について

- 総務費については、一般事務費の減少により、全体で30.5％減の2千402万5千円を計上しております。
- 後期高齢者医療広域連合納付金については、保険料分、保険基盤安定負担金ともに増加しており、全体で6.1％増の5億8千242万1千円を計上しております。
- 諸支出金については、後期高齢者医療広域連合での保険料の試算により、保険料還付金についても7.7％増の441万2千円を計上しております。